

プロスポーツ

函館GII 号外版

PROSPORTS KEIRIN WEEKLY MAGAZINE

超速誇る脇本雄太が主役

第19回サマーナイトフ
エスティバルは、7月15日
17日の日程で開催され
る。舞台は一昨年以来とな
る函館競輪場だ。SS班9
名をはじめとして全国各
地から強豪が集結。3日間
に渡って熾烈なV争いが
繰り広げられる。また、ガ
イルズケイリンフェステ
イバルが3個レース3日
制で行われる。こちらもガ
イルズトップクラスが一
堂に会して真夏の夜を彩
る。見どころ満載のシリ
ーズだ。

持病である腰痛の影響
で、万全の体調は望みにく
い脇本雄太。別線からの警
戒も最高レベルだけに、さ
すがに勝ち続けることは
叶わないが、今年の勝率は
約63%。獲得賞金3億円を
達成した昨年の約81%に
は及ばなくとも、素晴らし



脇本雄太

い数字であることに変わ
りはない。上がりタイム10
秒台のまくりを立て続け
に繰り出す豪脚は、間違
なく輪界トップ。別線をお
じ伏せてサマーナイト初
Vを達成した約40日間の欠
場明けだったダービーは、
底力を発揮して優秀した
古性優作ながら、動きはや
や物足りなかった。だが、
富山全プロ記念①着の
動きは一変して、短期
間で立て直して成功。す
ると高松宮記念杯⑧①①①
①着、決勝は先行した脇本
に乗り、今年G1大会2V

目をゲットしている。続く
前橋記念もV。ここも逆転
は十分。
北日本勢はラインの総
合力で脇本に抵抗する。グ
ランドスラム・新田祐
大をはじめ新山響平、佐藤
慎太郎、守澤太志とSS班
がズバリ。6月久留米記念
で10年ぶりにG3を制し
た成田和也も控えている。
現に久留米記念の決勝で
は、主導権を握った新山に
新田、成田、渡部幸で続い
た北日本勢の前に、脇本は
着外に敗れている。地元地
区でもあり、北日本勢から
優勝者が出る可能性は大
いにある。



新田祐大

松浦悠士、清水裕友、犬
伏湧也の中四国勢も好勝
負が見込める。松浦はこの
大会と相性がいい。21、22
年と連覇していて、今年に
3連覇を目指しての参戦
だ。21年は清水のまくり
に、22年は犬伏のまくり
に、それぞれ乗ったの優勝で、チ
ヤンスをきっちりものに
している。松浦は高松宮記
念杯②③②③④着の動き
も軽快だったし、犬伏はス
ピードに一段と磨きがか
かり、航続距離も伸ばして
いる。中四国勢が上位独占
しても不思議ではない。
快速レーサーがそろ
う、南関勢も侮れない。郡司浩
平、深谷知広、松井宏佑の

面々なら、誰が先頭で戦っ
ても別線には脅威となら
う。ダービーの準決で落車
し、高松宮記念杯は復帰戦
だった郡司だが、①①⑤①
①着と危なげなく決勝に
乗っていて、体調に不安は
感じさせなかった。勝機が
巡ってくればものにな
る状態にある。

古性優作
松浦悠士
郡司浩平
脇本雄太
平原康多
新田祐大
佐藤慎太郎
守澤太志
新山響平

主力メンバー

※2023年7月4日現在

サマーナイトフェスティバル 出場予定選手

Table with columns for rider names (松浦悠士, 古性優作, 脇本雄太, etc.), registration details, and performance statistics. Includes a '近12場所成績' (Recent 12 venues performance) section.

Table listing participating riders for the Summer Night Festival, including names like 佐藤慎太郎, 山田久徳, 青野将大, and their respective performance metrics.

※2023年7月4日現在



函館

は誘惑が2倍

SUMMER NIGHT & GIRLS & KEIRIN

2023.7.15 16 17 sat sun mon

競輪は過度に楽しみましょう。即券の購入は20歳になってから。

和田 圭 (宮城/92期)

ダービーでG1初の決勝進出を果たすと、高松宮記念杯は東一次予選1、2を⑤①着で青龍賞にコマを進めている。差し脚に磨きがかかった感があり、好目標あるときは目が離せない。



岩本 俊介 (千葉/94期)

この大会は相性がいい。昨年の玉野は①②着とオール連対の準Vと大活躍しているし、一昨年の当所大会も③②着で決勝に乗っている。自慢のスピードを発揮しての一発には注意したい。



坂井 洋 (栃木/115期)

今年のビッグレースは二次予選を乗り切れずにいたが、高松宮記念杯では青龍賞にコマを進め準決進出。6月久留米記念②④②⑦着の動きも良好で、昨年の競輪祭以来のビッグ優参が期待される。



ガールズケイリンフェスティバル 2023

充実感を増す児玉碧衣



児玉 碧衣

優勝者にグランプリ出走権が与えられるG1ではないが、優勝賞金320万円を懸けて争う夏の夜祭典。予選2走のポイント上位者が決勝に勝ち進む。本命はもちろん、完全復活の児玉碧衣だ。パールカップでの完全優勝は見事だった。3日間、快速カマシ、まくりを決めての完勝で、決勝では久米詩や坂口楓華の挑戦を問題にしなかった。鎖骨骨折の試練を乗り越えて一段と逞しさを増したし、苦しんだ分勝負へのモチベーションも上がったのが現在の快進撃を支えていてまさに怖いものなしだ。ただ、この大会に関しては16年から参加し、準Vがこれまでで最高と意外と結果を出せていない。特に21年の当所では決勝を外すまさかの結果だっただけに、今年こそは優勝してリベンジを果たす。



久米 詩

クシオンを含め19連勝して臨んだパールカップ決勝では、児玉に4車身差を付けられたの2着だった久米だが、坂口とともに児玉より先に仕掛けて出たレース内容自体は悪くなかった。久米も坂口もメリハリを付けた走り、好機に思い切って仕掛けていければもっと児玉と好勝負できるだろう。

パールカップは予選敗退に涙した尾方真生だが、今年9Vの実力と勢いは久米、坂口に劣らない。姉弟子の児玉に臆せず挑んで波乱を起こしたい。鈴木美教も今年はV9、流れに乗ってほしい。パールカップは調整ミスだった石井寛子もこのままでは終われない。さらに6月小倉MNを完全優勝した山原さくらも復調なつて怖い。あっせん停止期間中に練習に励んだ吉村早耶香、俊敏な動きが戻ってきた吉川美穂も伏兵に留まらない。

5月以降は低調な柳原真緒、パールカップでの落車の影響が気掛かりな小林莉子、腰痛が再発した小林優香らの巻き返しも見もの。

出場予定選手詳細

※2023年7月4日現在

選手名	所属	身長	期	身長	期	身長	期	身長	期	身長	期	身長	期	身長	期	身長	期	身長	期		
尾方真生	オガタマオ	161cm	65	108期	169cm	67	106期	164cm	64	112期	166cm	57	114期	164cm	61	116期	160cm	59	104期	160cm	65
見玉碧衣	福岡	163cm	67	108期	169cm	67	106期	164cm	64	112期	166cm	57	114期	164cm	61	116期	160cm	59	104期	160cm	65
小林優香	福岡	164cm	64	106期	164cm	64	106期	164cm	64	112期	166cm	57	114期	164cm	61	116期	160cm	59	104期	160cm	65
坂口楓華	京都	164cm	64	106期	164cm	64	106期	164cm	64	112期	166cm	57	114期	164cm	61	116期	160cm	59	104期	160cm	65
柳原真緒	福井	164cm	61	114期	164cm	61	114期	164cm	61	116期	160cm	59	104期	160cm	65	104期	160cm	65	104期	160cm	65
久米詩	静岡	160cm	59	104期	160cm	59	104期	160cm	59	104期	160cm	59	104期	160cm	59	104期	160cm	59	104期	160cm	65
石井寛子	東京	160cm	65	104期	160cm	65	104期	160cm	65	104期	160cm	59	104期	160cm	59	104期	160cm	59	104期	160cm	65

直近12場所成績



車券の購入は20歳になってから。競輪は適度に楽しみましょう。
競輪とオートレースの売上の一部は、機械工業の振興や社会福祉等に役立てられています。